

須加院川ありがとう

連絡先事務局 〒679-2132 姫路市香寺町須加院470-1

メール blue_sky@gaia.eonet.ne.jp

ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~sukain/index.html>

<http://himeji.genki365.net/gnkh09/mypage/index.php?gid=G0000074>

須加院川の会
第 073号
発行日 H22.12.28
発行者 上月時男
編集者 上月勝好
印刷所 小野高速

電話とファクス

079-265-3631

H23/01~03の予定

須加院川の会の活動には、だれでも、いつでも、気軽に出入りが自由。あなたのお越しをお待ちしています。

回	月日	時間	集合場所	中止・決行は集合時刻に集合場所。問合せは↑の連絡先まで
194	1月9日(日)	AM9:00~ ~11:30	・香呂南小前	・河川敷花壇の手入れとゴミ拾い ・なめら堰~円堂谷間の刈取ほか 10:45に合流しトン汁とぜんざいで年初を祝います
195	2月6日(日)	AM9:00~ ~11:30	・香呂南小前	・河川敷花壇の手入れとゴミ拾い ・円堂谷~勝負谷間の刈取ほか
196	3月6日(日)	AM9:00~ ~11:00	・香呂南小前	・河川敷花壇の手入れとゴミ拾い ・勝負谷~谷山入口間の刈取ほか 午後1時から定期総会のため11時で終了します
197	3月6日(日)	PM1:00~ ~16:00	・いきがいセンター	・2011年度定期総会(多くの方々の出席をお待ちしています)

南小ネットディからマル9年

H13年12月9日(日)、生徒数185名の南小に400名近いボランティアが参集、子守班等々多くのワークショップを編成しネットディが実施された。ブ厚なコンクリート壁にドリルで穴を開けLANケーブルを教室や廊下の天井裏に這わせインターネット接続を実現した。このネットディですが

- ① 生徒一人一人が情報ネットワークにアクセスできる環境をボランティア達が提供したいと、学校のインターネット接続を構築するイベント
- ② その準備に様々な協働を通じ学校現場と地域ボランティアの連携を誘い、産官学民が参画するボランティア同士の連帯感を創出する効果が大きいイベント

と要約できよう。活動で見える部分はパソコンとパソコンをLANケーブルで繋ぐことだが、実は繋がれたのは人と人、築かれたのは人の絆。その後全国規模へ広がったが接続のハード面が国の事業に代り、地域と産官学民が



Netday in 香呂南

2001/12/09

協働する場が奪われネットディ運動は下火になる。当時の小一は高一・五年は成人に、そして今無線LANの時代で壁への穴開けも不要、インターネットは家庭や個人がPCや携帯からもOKで一人一台の時代。当時実行委員長をした当会報の編集者には今昔の感が一入だ。

南小ネットディの一年前、『荒れ放題の須加院川に昔の景観を蘇らせ、シャケが川里帰りするように世界に

羽ばたき行く子供達に故郷への愛着心を刻み何時の日にか帰省させたい』と強く願い、川の美化活動を始めました。実現目標は子供時代の1950年頃の美しかった須加院川流域の山や川の姿の回復。近寄せ親しみを持たせたいと一途に願い①須加院川を美しくしよう②ゴミを拾い、その為には川の草刈からと自宅横の川原から徐々にその範囲を広げる。川の会発会の一年前のことです。

動機は川筋の至る所に小学生の手に成る川への接近禁止の看板。学校関係者へ『川は学びの場・親しむところ』と強く働き掛けたから多分『モンスター』の一種に受取られたらう。その際、ネットディ開催を模索中

の先生から『ネットディの終了時にボランティアの皆さんへ川の美化活動への参加を募っては』との助言と実行委員長引受の依頼もあり、川のゴミ拾いへ子供や親達を引込みたい欲との道連れで実行委員長を引受ける。

かねてより会長と計画中の『ネットディ終了後のゴミ拾い活動キックオフ』は寒風吹き荒ぶ2月3日。地域へ配布の案内に、有志や先生・生徒ら28名が集り川のゴミ拾いに着手した。その後は先生方の異動や父兄らの関心が中学や高校へと成長する我が子に連れ移り、また景気の悪化などでPTAをはじめ壮年や若年層の参加者が減り、九年前の平均年齢61才の集団は今や68才と高齢化し55~65才層の入会が望まれる。

H22/12/4(土)記事

昭和25年10月3日第3種郵便物認可

日刊 熊野新聞



南秀芳代表



石垣雅人さん



原洋三営業課長

田辺市本宮町の川湯みどりやでこのほど、熊野や兵庫姫路市で、世界遺産があるまちを流れる川の清掃活動に取り組む団体の意見交換会が開催された。

川を守っていくために 河川清掃について意見交換

田辺市本宮町



意見を述べる須加院川の会の上月時男会長

熊野のクリーンアップ市の会の南秀芳代表、釣りクラブかわせみ会の石垣雅人さん、熊野交通の

原洋三営業課長が、姫路市の河川清掃市民グループ「須加院川の会」(上月時男会長)の30人と、お互いの取り組みや川をきれいに守っていく方法などを話し合った。

上月時男会長は、川を守っていくには川筋以外の人、特に子どもを引き寄せる川作りをすることが効果的とし、「子どもが楽しく遊べる川には人が集まる。昆虫や魚とりと絡めてゴミ拾いを教えるれば、きちんとやってくれるし、川での楽しい思い出が、守る意識を育てることもつながる」と話した。